

109 唯一の救い主、イエス・キリスト

ヨハネによる福音書 8 : 21~30

..... 仮庵祭の7日目のこと（十字架にかかる前の年、半年前の仮庵祭）.....

21 そこで、イエスはまた言われた。

「わたしは去って行く。あなたたちはわたしを捜すだろう。だが、あなたたちは自分の罪のうちに死ぬことになる。わたしの行く所に、あなたたちは来ることができない。」

→イエスは御自身の将来（十字架→埋葬→復活→昇天＝父なる神のもと）を語っている。

→and you will die in your sin. (NIV) / and will die in your sin. (NKJV) ⇒ 罪（原罪）は sin（単数形）

22 ユダヤ人たちが、『わたしの行く所に、あなたたちは来ることができない』と言っているが、自殺でもするつもりなのだろうか」と話していると、

23 イエスは彼らに言われた。

「あなたたちは下のもの（→この世）に属しているが、わたしは上のもの（→天）に属している。あなたたちはこの世に属しているが、わたしはこの世に属していない。

24 だから、あなたたちは自分の罪のうちに死ぬことになると、わたしは言ったのである。『わたしはある』（＝イエスが神であり、救い主である）ということを信じないならば、あなたたちは自分の罪のうちに死ぬことになる。」

→I told you that you would die in your sins（→行為としての数々の罪）； if you do not believe that **I am He**, you will indeed die in your sins.” (NIV)

→Therefore I said to you that you will die in your sins; for if you do not believe that **I am He**, you will die in your sins.” (NKJV)

【参考】わたしはある

タイトル(書名)	章:節 聖句	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: わたしはある]
K 出エジプト記	3:14 神はモーセに、「わたしはある。わたしはあるという者だ」と言われ、また、「イスラエルの人々にこう言うがよい。『わたしはある』という方がわたしをあなたたちに遣わされたのだと。」	NIV: I am who I am./NKJV: I AM WHO I AM.
S ヨハネによる福音書	8:24 だから、あなたたちは自分の罪のうちに死ぬことになる、わたしは言ったのである。『わたしはある』ということ信じないならば、あなたたちは自分の罪のうちに死ぬことになる。」	
S ヨハネによる福音書	8:28 そこで、イエスは言われた。「あなたたちは、人の子を上げたときに初めて、『わたしはある』ということ、また、わたしが、自分勝手には何もせず、ただ、父に教えられたとおりに話していることが分かるだろう。」	
S ヨハネによる福音書	8:58 イエスは言われた。「はっきり言っておく。アブラハムが生まれる前から、『わたしはある。』」	I am! / I AM.
S ヨハネによる福音書	13:19 事の起こる前に、今、言っておく。事が起こったとき、『わたしはある』ということ、あなたがたが信じるようになるためである。	I am who I am./ I am He.

25 彼ら（→混乱し、怒ったファリサイ派たち）が、（イエスに）「あなたは、いったい、どなたですか」と言うと、イエスは言われた。

「それは初めから話しているではないか（→口語訳：わたしがどういう者であるかは、初めからあなたがたに言っているではないか）。26 あなたたちについては、言うべきこと、裁くべきことがたくさんある。しかし、（そのようなことは、わたしがこの世に来た本当の目的ではない。）わたしをお遣わしになった方（＝父なる神）は真実であり、わたしはその方から聞いたことを、（そのまま、この）世に向かって話し

ている。」

27 (神を知らない) 彼らは、イエスが御父について話しておられることを悟らなかった。

→(リビング・バイブル) それでも彼らにはまだ、イエスが神のことを話しておられるのがわかりませんでした。

→イエスが神を父と呼ぶのは、神と特別な関係にあることと、神の民に関して権限を主張するためであった。

28 そこで、イエスは言われた。

「**あなたたちは、人の子を上げた** (→十字架に付けた) **ときに初めて、『わたしはある』** (NIV:I am he / NKJV:I am He=わたしは神である) **ということ、また、わたしが、自分勝手には何もせず、ただ、父に教えられたとおりに話していることが分かるだろう。**

→イエスは十字架に付けられるときと、死からよみがえるときの両方の出来事において、十全(完全)な栄光を受ける。

29 **わたしをお遣わしになった方は、わたしと共にいてくださる。わたしをひとりにしてはおかれない。わたしは、いつもこの方の御心に適うことを行うからである。」**

→ヨハネによる福音書 16 : 32

だが、あなたがたが散らされて自分の家に帰ってしまい、わたしをひとりきりにする時が来る。いや、既に来ている。しかし、わたしはひとりではない。父が、共にいてくださるからだ。

30 (イエスが) これらのことを語られたとき、多くの人々がイエスを信じた。

普遍的救いはない。悔い改めて、イエスを信じない者は天の父のもとには行けない。
イエスを神の子として信じない者は、神が与える赦しに与けられない。

【参考】 罪—sin と sins の違いは？

- ・ 法律用語での「罪」 → 犯罪 crime、法律違反 : offence
→ 日本人は、「罪≒罰≒犯罪」と感じ、言葉に抵抗感がある。
 - ・ 聖書の中での「罪」 → ・ アダムとエバから受け継がれた罪(原罪)により、人間に入り込んだもの
 - ・ 的外れ(創造主から離れている、背を向けている)
 - ・ 英語の sin (原義 : 神のおきてにそむくこと) を邦訳した語 → sin / sins
 - ・ 聖書の中で「罪」は → 罪とは、法に背くことです。(I ヨハネ 3:4b)
 - ・ 背き・咎 (=不義) (詩編 32:5)
 - ・ 道を誤り、自分勝手に歩むこと (イザヤ 53 : 6)
 - ・ 悪い思い (マタイ 5:28)
 - ・ 神や隣人を第一としないこと (マタイ 22 : 37~40)
 - ・ 人の内面から出てくるもの (マルコ 7:20~23)
 - ・ 神の基準に達しないこと (ローマ 3 : 23)
 - ・ 神の律法に背くこと (ローマ 5:13)
 - ・ 日本語聖書では「罪」という表記がされているが、英語版聖書を見ると別の表記となっている多い。
- condemn : 非難する / blaspheme : 侮辱する / sinful : 罪深い / sinner : 罪人 / trespass : 侵入
fault : 不具合 / offend : 怒る / offence : 犯罪 / transgression : 犯罪 / sinneth : 罪を犯す
- ・ 仏教 : 煩惱 → 心身を煩わし悩ませる一切の迷いの心 → 煩惱の犬は追えども去らず。